

学校成績アップと偏差値アップを考える

—まずは「現状把握(自覚)」、次に「目標設定」、あとは「実行」あるのみ—

開倫塾

塾長 林明夫

〈はじめに〉

塾生の皆様が開倫塾で学ぶ主な目的は、まずは「学校成績の向上」、最終的には「希望校合格」を果たすことと考えます。この目的をかなえるため、開倫塾では「効果の上がる学習方法」をどんどんご紹介し、皆様の「自己学習能力の育成」を最大限ご支援いたします。この毎月1回発行の「開倫塾ニュース」でも、「自己学習能力の育成」を目指し、「効果の上がる学習方法」をできるだけ具体的にお示しいたします。しっかりと保存の上、繰り返し読み直し、開倫塾の塾生である間に、自分なりの学習方法を身に付けてください。

Q：「学校成績アップ」と「偏差値アップ」のためには、どうしたらよいとお考えですか。

A：まずは「現状把握(自覚)」、次に「目標設定」、あとは「実行」の、3つのステップを確実に行うことに尽(つ)きます。

Q：「現状把握(自覚)」はどのように行ったらよいですか。

A：(1)まずは、「学校の通知表」や「模擬試験の結果」、「3大検定(英語検定、漢字検定、数学・算数検定)の結果」を机の上に置き、各教科、各分野の自分の成績がどうなっているのかをしっかりと「現状把握(自覚)」してください。

(2)次に、自分の一番進学したい学校に合格するためには、どのくらいの成績、具体的には内申点と模擬試験の偏差値が必要かを開倫塾の先生に聞いて、現実の成績とのギャップ(差)がどのくらいかをしっかりと「自覚」してください。

(3)最後に、自分の得意教科や得意分野は何か、不得意教科や不得意分野は何かを自分の力でしっかりと調べ、「自覚」してください。自分でやるのが難しければ、開倫塾の先生に遠慮なく相談してくださいね。

※このように「自分の成績」と「希望校合格のための成績」との「ギャップ(差)」をはっきりと「自覚」すること、「自覚」が大切です。

Q：どんな「目標設定」をし、どのように「実行」したらよいですか。

A：(1)「定期試験での成績アップ、校内順位アップ」と「学年相応の3大検定合格」をどう果たすかについて、目標を設定することです。

(2)「定期試験」は「全教科100点満点を取る」を目標とすることをお勧めします。

定期試験は「試験範囲」が限られ、また、基本的な出題が多いので、早め、早めから「学校

の教科書」と「学校の授業で配付されたプリント」、「学校で用いている問題集や教材」、「授業中のノート」を「スミからスミまで」しっかりと「理解」し、「身に着ける」（「定着」させる）ことに徹すれば、誰でも全教科 100 点満点が取れます。

ポイントは、早め、早めに定期試験の勉強をスタートすることです。どんなに遅くても、1 か月以上前からスタートしないと、全教科 100 点満点を取る勉強が終わりません。2～3 週間前からでは、数教科しか 100 点満点が取れません。

(3)「学年相応の 3 大検定」も、早め、早めに勉強をスタートすることです。これに合格することは、学校成績アップ、第一希望校合格に直結します。開倫塾では 3 大検定合格を思い切り応援しますので、毎年、確実に合格を果たしてくださいね。

Q：第一希望校はどのように決めたらよいですか。

A：(1)まずは、自分はどのような人になりたいのか、どのような仕事や社会的な活動をしたいのか、どのような人生を送るために生まれてきたのかを、自分の力でしっかりと考えることです。

そのために、「新聞」を毎日一面からなめるように読み、社会がどうなっているかをしっかりと自分の力で学ぶことが大切です。また、学校の教科書で紹介されているようなしっかりとした内容のある本を、じっくりと腰を落ち着け、一語一語かみしめるように読み、思慮深さを身に着ける「読書」が欠かせません。

「新聞」と「読書」なくして、自分の将来を考えることはできませんので、「新聞」と「本」は毎日しっかりとお読みください。

(2)その上で、自分の進むべき道が決まったら、その道にふさわしい学校を「第一希望校」として選択すべきと考えます。

Q：第一希望校合格に必要な成績と現在の成績との間に、大きなギャップ(差)があったらどうしたらよいですか。

A：学年を問わず、そのギャップ(差)を何としても埋め、第一希望校合格を果たすために開倫塾で学んでいるのですから、「受験生としての自覚」を 1 日も早く持ち、とりあえずは、「学校成績」大幅アップのために「定期試験で全教科 100 点満点」と「学年相応の 3 大検定合格」を目指し、具体的行動をスタートしましょう。

Q：最後に一言どうぞ。

A：定期試験、3 大検定、入学試験の勉強は「狭く、深く」に徹し、「スミからスミまで」正確に「理解」し、繰り返し何十回も学び直すことで確実に「身に着ける」（「定着」させる）ことに尽きます。

この具体的方法は開倫塾の「学習の 3 段階理論」でお示しいたしますので、開倫塾の塾生である間にしっかりと身に着けてくださいね。

開倫塾では、「理解」したことを「身に着ける」というときには「付」ではなく「着」の漢字を用いますので、ご了承ください。